

| | | | |
|-----|---------------------|------|--------------------|
| 事業名 | ⑤ 学生アシスタント・ティーチャー事業 | 担当部署 | 教育委員会 学校教育課 学校教育担当 |
|-----|---------------------|------|--------------------|

| 市の取組への評価・課題 | 具体的な対応策・提案 | コーディネーターによる意見のまとめ |
|---|---|--|
| <p>【評価○】 ・大学生が多くいる都留市ならではの特徴を生かした取組であり、大変恵まれた制度。</p> <p>・「教育首都都留」にふさわしい独創的事業であり、コンセプトは素晴らしい。</p> | <p>・インクルーシブ教育、アウトドアエデュケーション、少人数制、アクティブラーニングなど学生が主体的に活動できるように自由度を持たせたら、意識向上につながるのではないかと。</p> <p>・全国的に稀な素晴らしい取組であることをマスコミなどを通じて全国に向けて発信し、学生にステータスを感じてもらったらどうか。</p> <p>・SAT経験者に事前に体験談を聞く機会を作り、学んだこと、自分に活かした話など、伝えてもらうことにより、「義務」ではなく「自分のため」の時間になる意識につながるのでは。</p> <p>・学生の希望数にばらつきがみられるので、学校の魅力・特色をアピールする機会を作ってはどうか。また、その結果が、大学生に地域の魅力が伝わり、その後の定住にもつながる可能性もある。</p> <p>・事業に参加する大学生にアンケート調査を行い、その学校を希望する理由を聞き、改善等したらどうか。特に、遠方の学校に参加した大学生の意見は、解決策になるのではないかと。</p> <p>・遠方の小学校の場合は、2人組や3人組という応募を可能にすることで、希望者を増やせないかと。</p> | <p>コーディネーターによる意見のまとめ</p> <p>・遠方の学校の希望者が少ないが、学校の教育や活動などの魅力を伝えるなど、アピールポイントを伝えたらどうか。</p> <p>・学生の意欲向上のため、モチベーション設計が大切。</p> <p>・アクティブラーニングを行うことは学生にとってもメリットがある。</p> <p>・教育実習に行くと、子供一人ひとりを見るのは難しいが、SATであれば見ることができる。</p> <p>・SATは都留市独自の事業であり誇れる事業のため、SATに参加した学生向けにインセンティブを付与するなど、労を賑わってはどうか。</p> <p>・1、2年は学童、3、4年は学校であるため、切り分けしないで柔軟な対応をしてはどうか。また、ターゲットを障害者など幅広にもってはどうか。</p> <p>・マスコミなどアピールし、学生のステータスにつながるようにはどうか。</p> |
| <p>【評価△】</p> | | |
| <p>【課題】 ・今後、少子化が進み、小中学校の統廃合の可能性が出てくることから、SATの内容に限らない取組を連携して取り組んでいく必要がある。</p> <p>・学生の負担を軽減する配慮、意識を高める取組が必要である。</p> <p>・AタイプとCタイプの希望数が少ない点。</p> <p>・SAT事業を実施したことで、小中学校の学力向上にどのような効果が見られたか計測する必要がある。</p> | | |